

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

| 【目標達成計画】 | | | | | |
|----------|------|--|--|---|------------|
| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題 | 目標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成に要する期間 |
| 1 | 35 | ・避難経路は各居室から直接外部へ避難するようになっている。避難後の誘導等について吟味することが必要。 | <ul style="list-style-type: none"> ・火災発生時、職員や災害援助協力員、近隣住民が駆け付けた場合は大きな声で指示を出し避難に協力していただく。 ・火災発生場所や煙の流れによっては、避難経路通りにならない場合もあるのでさまざまなバリエーションを想定しその都度対応できるように訓練する。 ・運営推進会議を活用し夜勤は職員が一人体制であることを理解していただく。 ・利用者には、火災が起きてしまった場合は指示通り避難するよう常に説明をする。 | <ul style="list-style-type: none"> ・現在の避難経路について調査員よりグループホームの対応としてふさわしくないとのことでした。そのため市の消防に確認をしたところ人命を守るうえでは掃出し窓からの避難経路については問題ないとのこと。 ・掃出し窓から避難した場合、職員は大きな声で避難誘導の協力を求める。 ・火災発生場所を想定し2方向の避難経路を確保する。 | 1年 |
| 2 | | | | | |
| 3 | | | | | |
| 4 | | | | | |

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。